

広報

かに

2013 (平成25年)

4/1



特集

P2

平成25年度予算

目標は「若い世代が住みたいと感じる
魅力あるまちの創造」

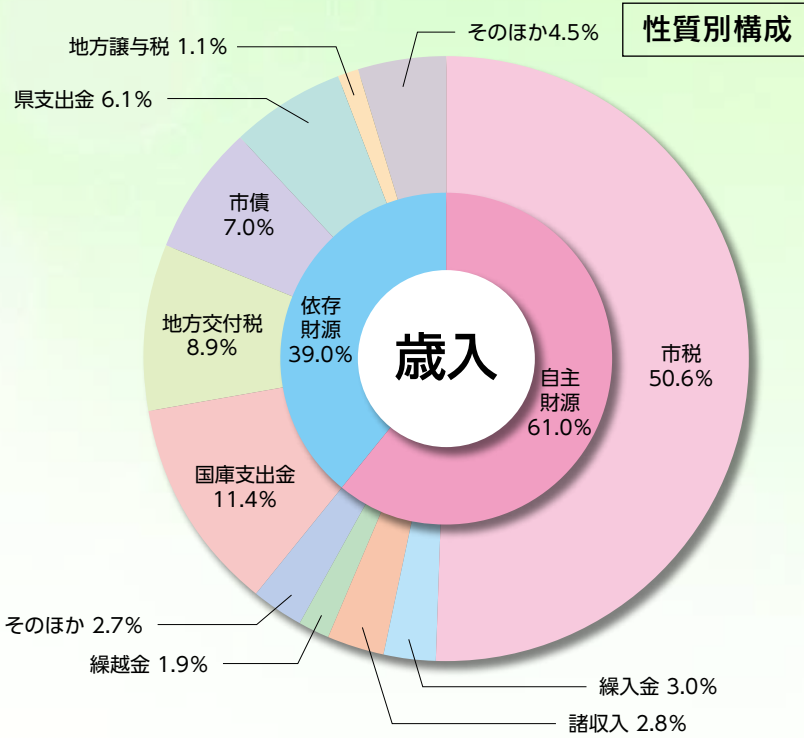
広見児童センターで3月13日、「大きくなったお祝い
会」が行われました。42組の親子が踊ったり、ショーを
見たりして、楽しいひとときを過ごしました。

- 空き家・空き地バンクを設立 …6
- 鉄道を利用しよう …7
- うるおいライフ …8
- インフォメーション …10
- フラッシュ・カニ …11
- 暮らし情報局 …12
- 市長室にようこそ …14

4本柱を重点に、市民生活を向上

市は新年度、「若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちの創造」を目標として、「高齢者の安気づくり」「子育て世代の安心づくり」「地域・経済の元気づくり」「まちの安全づくり」の4つを重点方針と位置付け、市民生活の向上と市の魅力づくりに取り組めます。

269億8千万円



区分	25年度	24年度	増減(%)	
自主財源	市税	136億4千万円	134億8千万円	1.2
	線入金	8億2209万円	6億9978万円	17.5
	諸収入	7億6889万円	7億8962万円	▼2.6
	線越金	5億円	5億円	0.0
	その他	7億2762万円	7億5202万円	▼3.2
小計	164億5860万円	162億2142万円	1.5	
依存財源	国庫支出金	30億7908万円	31億8382万円	▼3.3
	地方交付税	24億円	26億円	▼7.7
	市債	19億円	19億円	0.0
	県支出金	16億3332万円	15億4976万円	5.4
	地方譲与税	3億円	3億2400万円	▼7.4
	その他	12億900万円	12億2100万円	▼1.0
小計	105億2140万円	107億7858万円	▼2.4	
合計	269億8千万円	270億円	▼0.1	

自主財源：市税・使用料など市が自主的に収入する財源

依存財源：国や県から配分される財源と借入金

市税：市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税など

市債：施設の建設や土木工事など、多額の費用を要するとき、また世代間の公平な負担を図るため、費用の一部を金融機関などから借り入れる資金

地方譲与税：国税のうち、一定の基準により国から地方へ譲与するもの

選択と集中で健全財政を堅持

少子高齢化が急速に進みつつある本市においては、税収の減少と老朽化した施設などの維持管理が大きな課題となっています。このような中においても、市民の声を大切に、新規に必要な施策を展開していく必要があります。

新年度予算は、前年度と同程度としましたが、実質的には、国の経済対策に対応する前年度前倒し事業を言めると増額予算となります。

新年度は、次の四つの重点方針に基づき取り組めます。

初めに、「高齢者の安気づくり」に取り組めます。自助、共助の福祉活動の仕組みづくりを進めるとともに、支援が必要な高齢者に適切なサービスを提供します。

次に、「子育て世代の安心づくり」に



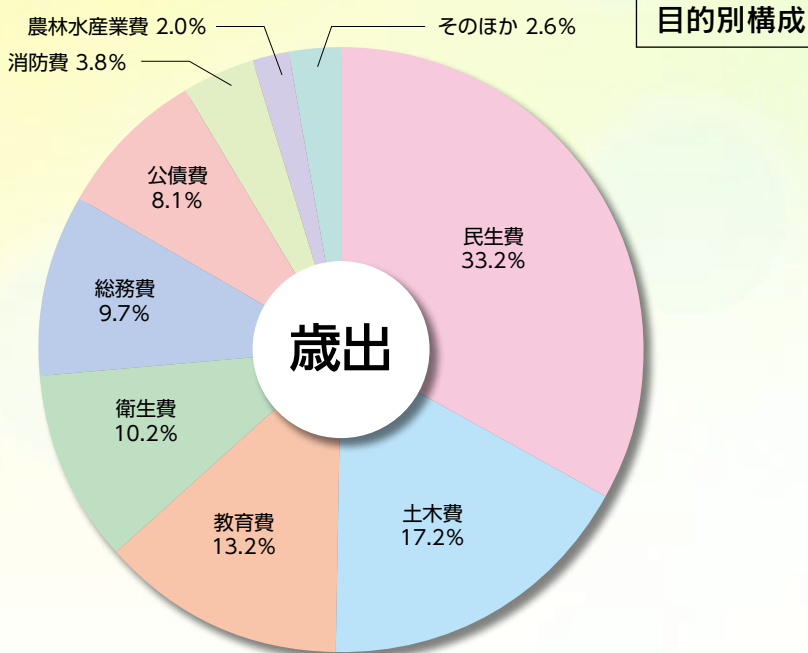
児童センターで輪になって遊ぶ子どもたち

市民1人当たりの歳出予算額

支 出	
民生費	8万8652円
土木費	4万5811円
教育費	3万5218円
衛生費	2万7308円
そのほか	6万9710円
合 計	26万6698円

※平成25年3月1日人口で計算(10万1163人)

一般会計



特別会計 企業会計

特別会計

区 分	25年度	24年度	増減(%)
国民健康保険事業	108億2650万円	102億1400万円	6.0
後期高齢者医療	8億2600万円	8億1800万円	1.0
介護保険	55億2120万円	53億7250万円	2.8
簡易水道事業	—	3億700万円	皆減
飲料水供給事業	—	620万円	皆減
自家用工業用水道事業	1億5250万円	1億5250万円	0.0
公共下水道事業	29億8200万円	29億8千万円	0.1
特定環境保全公共下水道事業	2億4500万円	2億4600万円	▼0.4
農業集落排水事業	1億7200万円	1億7500万円	▼1.7
可児駅東土地区画整理事業	1億3千万円	3億3900万円	▼61.7
財産区(5地区の計)	2020万円	2220万円	▼9.0
合 計	208億7540万円	206億3240万円	1.2

※簡易水道事業特別会計、飲料水供給事業特別会計は水道事業への統合に伴い廃止。

企業会計

区 分	25年度	24年度	増減(%)
水道事業	29億6280万円	28億9500万円	2.3

区 分	25年度	24年度	増減(%)
民 生 費	89億6831万円	88億9899万円	0.8
土 木 費	46億3433万円	48億5334万円	▼4.5
教 育 費	35億6275万円	36億9136万円	▼3.5
衛 生 費	27億6260万円	25億9733万円	6.4
総 務 費	26億1777万円	25億6603万円	2.0
公 債 費	21億8235万円	22億3840万円	▼2.5
消 防 費	10億3341万円	9億8290万円	5.1
農 林 水 産 業 費	5億3425万円	5億5544万円	▼3.8
そ の ほ か	6億8423万円	6億1621万円	11.0
合 計	269億8千万円	270億円	▼0.1

民生費：子ども、高齢者、障がい者などの福祉に要する経費

土木費：道路、公園、住宅、河川改良事業などの整備に要する経費

衛生費：ごみ処理、リサイクル、保健衛生などに要する経費

総務費：選挙や戸籍、徴税、市の財産管理などに要する経費

公債費：市債の返済に要する経費

消防費：消防活動、ハザードマップ作成など災害対策に要する経費

取り組みます。子どもの健全な成長につながる教育力の整備や、安心して子育てができる環境づくりを進めます。

三つ目、「地域・経済の元気づくり」に取り組みます。地域資源を掘り起こし、その魅力を内外に効果的に発信します。また、積極的な企業誘致や地域経済の活性化を進めます。

最後に、「まちの安全づくり」に取り組みます。豪雨災害や南海トラフ巨大地震などに確実に備えるとともに、防災体制のさらなる充実と良好な住環境、福祉・医療環境を確保します。

こうした重点事業に取り組みにあたっては、「対話と共感」による市民中心のまちづくりを念頭に、効果的・効率的な行政運営を行い、将来世代に過度な負担を掛けないよう、健全財政を堅持していきます。

重点方針 1

高齢者の安気づくり
(31億2598万円)

生きがい・健康づくり

●健康づくり推進事業(3221万円)
誰もが手軽にできるウォーキングを市民運動歩こう可児302として展開し、市民の健康づくりを推進します。

●成人各種健康診査事業(1億1882万円)
生活習慣病に着目した特定健診と保健指導の推進により、市民の生涯にわたる健康増進を図るとともに、健康意識の向上を図ります。

安気にする地域づくり

●在宅福祉事業(13809万円)
高齢者のための地域包括ケアシステムを構築する検討などを行います。

安心な介護の体制づくり

●介護保険事業(7億5031万円)
第5期介護保険事業計画に基づき、介護給付費に加え、介護予防事業や包括支援事業などの介護サービスを安定的・継続的に推進します。



歩こう可児302でウォーキングを楽しむ市民

平成25年度予算

4つの重点
方針の主な
事業内容

市は、4つの重点方針を進めることにより、若い世代の人が住みたいと感じる魅力あるまちを創造します。4つの重点方針の主な事業内容を紹介します。

重点方針 2

子育て世代の安心づくり
(25億8506万円)

安心して子育てできる環境づくり

●キッズクラブ運営事業(8614万円)
従来実施してきた児童クラブをキッズクラブとして、対象児童を6年生まで拡充し、運営することともに、長期休暇入室コースを新設します。

日本一の義務教育のまちづくり

●市学校教育力向上事業(2460万円)
児童生徒の生活や学習の状況をアンケート調査や学力検査で把握し、専門家の指導を受け、生活の様子や学び方に配慮した対応を通して、過ごしやすい学びやすい学校生活を創出します。

●スクールサポート事業(1億3913万円)

学校での支援を必要とする児童生徒の増加に対応するため、各種スクールサポーターを配置します。

子育て世代の元気づくり

●運動公園整備事業(8億8102万円)
坂戸市内の運動公園に、テニスコートに続いて、6千人以上を収容できる野球場を整備します。



運動公園のイメージ図

地域・経済の元気づくり (19億2890万円)

「可児市」の顔づくり

●豊蔵資料館運営事業(2483万円)

(財)豊蔵資料館から寄付を受けた「豊蔵資料館」を運営します。作品を広く公開することも、多くの窯元や若い陶芸家との連携を推進します。

●国宝卯花^{つのはな}塙のふるさと調査事業(871万円)

県史跡大萱古窯跡群にある、国宝の志野茶わん卯花塙が焼かれたといわれる牟田洞窯の調査・解明を進めます。

躍進する経済づくり

●ブランド化推進事業(1500万円)

さまざまな地域資源を活用するとともに、市民の誇りや自慢となるようブランド化を推進します。

元気な地域社会づくり

●団地再生事業(80万円)

19の住宅団地をモデル地区として「空き家・空き地バンク」制度を創設します。これにより定住人口の増加と地域の活性化を図ります。



調査する牟田洞窯跡地

目 標

若い世代が住みたいと感 魅力あるまちの創造

“まち”の安全づくり (23億5495万円)

災害に強い安全な「まち」づくり

●地震被害想定見直し業務(2000万円)

南海トラフ巨大地震、内陸直下型地震に対する国、県の想定が見直されたことを受けて、市独自の知見を加えて地震被害想定を見直します。

安心して住める「まち」づくり

●交通安全施設整備事業(2億1100万円)

市道34号線の道路改良など主に通学路の安全を確保するため、通学児童生徒の多い路線を中心に、道路の拡幅や歩道の整備を行います。

幸せを感じられる「まち」づくり

●地域医療支援事業(5千万円)

医師確保につながるため、地域の中核病院が行う高度な医療サービス提供のための設備投資に助成します。



防災訓練の様子

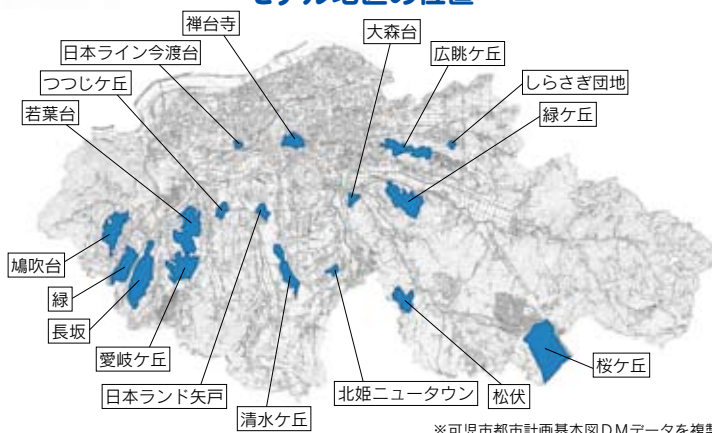
問合先 財政課

※事業費は再掲を含みます。

空き家・空き地バンクを設立

人口減少社会が到来し、市の住宅団地においても空き家や空き地が増加し始めています。市は、市内住宅団地の空き家・空き地の情報広場としてバンクを創設します。土地所有者と利活用を希望する人の橋渡しをすることにより、定住人口の増加と地域の活性化を図ります。

モデル地区の位置



※可見市都市計画基本図DMデータを複製

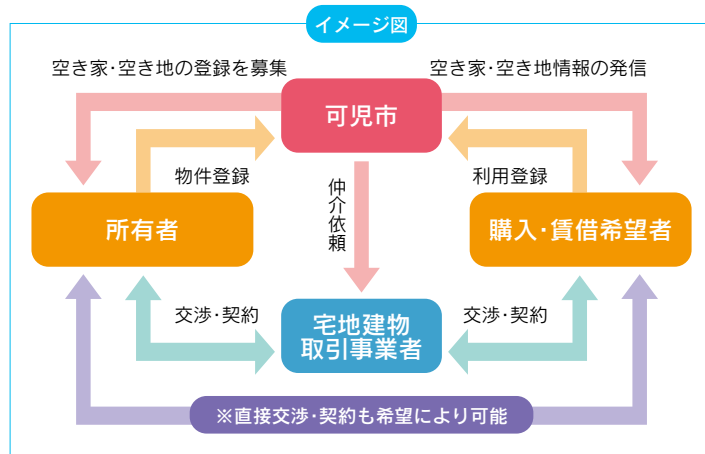
モデル地区でスタート

開発から30年以上経過し、面積が1ヘクタール以上の住宅団地(日本ライン今渡台・禅台寺・愛岐ヶ丘・長坂・鳩吹台・緑・若葉台・清水ヶ丘・つつじヶ丘・日本ランド矢戸・北姫ニュータウン・大森台・松伏・緑ヶ丘・桜ヶ丘・しらさき団地・広眺ヶ丘)をモデル地区として開始します。

空き地・空き家を橋渡し

モデル地区の空き家や空き地の所有者で、売却・賃貸を希望する人の物

件情報を、市のホームページで公開します。購入・賃貸の相談に応じて、物件・所有者・管理者を紹介します。



バンクに登録する物件を募集

現在、利用していない空き家・空き地の物件を募集します。対象はモデル地区内の物件となります。

○募集する空き家の要件

現在住んでいない居住可能な専用住宅(近く居住しなくなる予定の物件を含みます)

○募集する空き地の要件

現在使用していない宅地(残存物件

の除去などにより住宅が建設可能な物件を含みます)

登録する空き家を対象として、改修費用の助成金があります。助成額は、50万円以上の改修工事で、改修費用の10分の1の範囲内(10万円が限度となります)。

対象者 (要件を全て満たすこと)

- バンクに登録し、入居予定者が決まった住宅の所有者またはバンクに登録している住宅の入居予定者(契約後、入居前の人)
- 市税や負担金などの滞納をしていない人
- 対象者以外の要件は、11ページの「市住宅リフォーム助成事業」の項目で確認してください。



購入・賃貸の登録希望者を募集

物件の募集に併せて、購入や賃貸の登録希望者も募集します。モデル地区内で物件を探している人は、ぜひ登録してください。

○登録できる人

現在の居住地や勤務地などは問いません。ただし、モデル地区に定住し、または生活拠点にしてみようことが条件となります。

問合せ 都市計画課



鉄道は大切な公共交通

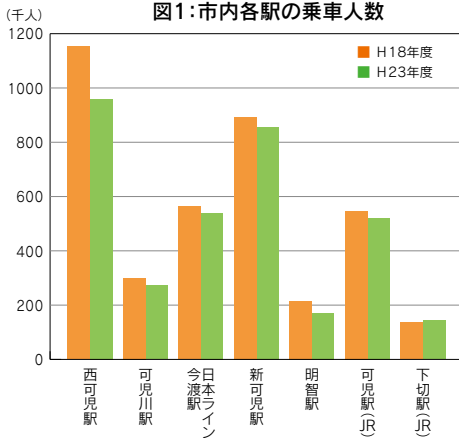
鉄道を利用しよう

「存続してほしい」と望まれているにもかかわらず、利用者は減少傾向にある鉄道。大切な地域の足を守るため、車の利用を少し見直し、鉄道を利用しましょう。

鉄道の利用者は減少傾向

市内には、東西に名古屋鉄道広見線（犬山駅～御高駅）と南北にJR太多線（多治見駅～美濃太田駅）が運行しており、広見線は5駅、太多線は2駅が設置され、皆さんの日常生活の移動手段として利用されています。

しかし、自動車の普及や幹線道路の整備などに伴い、鉄道利用者は減少傾向にあります（図1参照）。



今後、超高齢社会が到来し、車を運転することができない交通弱者の増加が予想されます。また、昨年の市民アンケート調査でも、市の交通将来像として、「広見線などの鉄道が軸となつて公共交通が利用しやすいまち」を望む声が多く寄せられました。このように、鉄道を維持・存続していくことは重要な課題となっています。

名鉄広見線（新可児駅～御高駅間）のピンチを救うために

協議会の設置と取り組み

名鉄広見線のうち新可児駅～御高駅間は、利用者的大幅な減少と収支の悪化により、平成19年に名古屋鉄道（株）単独での維持は困難であるとの申し入れがありました。

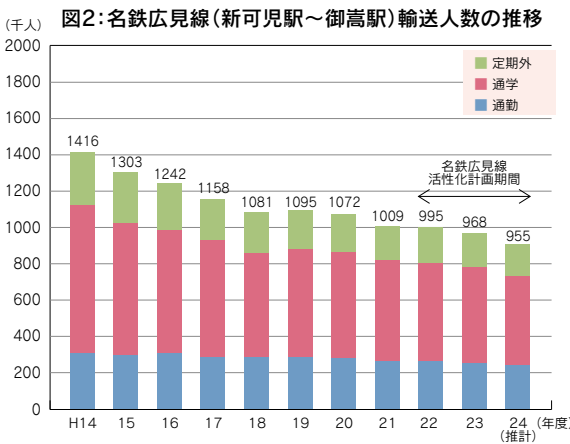
これを受けて、沿線市町は名鉄広見線対策協議会を設立し、21年12月に名鉄広見線活性化計画を策定しました。協議会は路線存続に向けて、この計画に基づき22～24年度の3年間、運行

費支援と、利用者増加のための施策を実施してきました。

しかし、利用者の減少を食い止めることはできず（図2参照）、25年度以降の広見線のあり方について、改めて協議を進めてきました。

引き続き支援

協議会は、①市民アンケート調査で



今後も運行継続が必要だという意見が半数を超えていること ②現状で高校生630人が利用する大切な通学手段であること ③新可児駅～御高駅間だけでなく広見線全線（犬山駅～御高駅）が、将来必要な社会インフラであることなどを踏まえ、引き続き維持存続のため利用促進に取り組みとともに、財政支援を行うことを決定しました。

この方針に基づき、25～27年度の3年間、広見線の運行継続および運行費支援として3億円【各年度1億円】（可児市13千万円、御高町7千万円）を交付することが決定しました。

鉄道路線の維持・存続に向けて

名鉄広見線の利用者は、新可児駅～御高駅間だけでなく、犬山駅～新可児駅間でも減少傾向にあります。このため、広見線全線の利用促進を図ることが大切な課題となっています。

また、JR線についても、リニア中央新幹線の開業を控え、地域間の交流連携のために大切な路線となります。

しかし、車に過度に頼る生活を続けていては、鉄道の存続は困難になります。

鉄道の利便性や必要性を再認識し、通勤・通学や買い物、レジャーなどに積極的に利用していきましょう。

問合先 総合政策課

⑧ 骨盤コンディショニングヨガ教室

骨盤メンテナンスで身体のバランスを整え正しい姿勢をつくり、無理なく代謝を上げていきます。

期 日 5月13日～6月17日毎週月曜日
※6月10日を除く【全5回】
時 間 午前9時45分～10時45分
場 所 錬成館(谷迫間・B & G海洋センター隣)
講 師 山口 静江
対象者 成人男女
定 員 40人
参加費 2250円
(保険料含む)



⑨ レッツ！ラテンエアロ教室

ラテンのリズムに合わせて楽しく踊ります。ウエストのシェイプアップ、脂肪燃焼に効果的です。

期 日 5月9日～6月27日毎週木曜日【全8回】
時 間 午後1時30分～2時30分
場 所 錬成館(谷迫間・B & G海洋センター隣)
講 師 磯村 尚子
対象者 成人男女
定 員 40人
参加費 3600円
(保険料含む)



⑩ 格闘技エクササイズ教室

軽快な音楽に合わせてキックやパンチなどで楽しく運動でき、筋力や柔軟性もアップできます。

期 日 5月10日～6月28日毎週金曜日【全8回】
時 間 午前10時～11時
場 所 錬成館(谷迫間・B & G海洋センター隣)
講 師 柳生 美恵
対象者 成人男女
定 員 40人
参加費 3600円
(保険料含む)



⑧～⑩託児あり。1回1人200円。預ける子の名前・性別・年齢をはがきに記入してください。

体育連盟主催講座⑧～⑩
問合先 体育連盟事務局 ☎ ②8600

NPO法人生涯学習かに

「生涯^{がく}楽習相談」を開催

生涯学習に関する情報や資料を提供し、相談に応じます。

- 生涯学習のきっかけを探している人
 - 講座やサークル・指導者を探している人
 - 学びの課題や見直し
 - 学びの成果を活用したい人
- など年齢を問わず気軽にお立ち寄りください。

相談日

4月	6日(土)、21日(日)
5月	4日(祝)、26日(日)
6月	1日(土)、16日(日)

時間

午後1時～4時

問合先

NPO法人生涯学習かに
☎ 090(6590)4285

場 所 文化創造センター

講座の応募方法

講座の受講希望者は、下記の要領に従って、往復はがきで応募してください。

受講資格 市内在住または在勤(勤務先を記入)の人
申込方法 1講座につき一人1枚の往復はがきで応募
送付先 生涯学習文化室
申込締切 4月22日(月)
※当日消印有効。持参する場合は4月22日(月)午後5時15分までに同室に必着。
抽 選 応募者多数の場合は、4月25日(木)の午後3時から市役所4階生涯学習文化室で公開抽選を行います。
結果通知 講座の案内や抽選結果は、返信用はがきでお知らせします。
そのほか 定員に満たない場合は講座を中止したり、また都合により日程などの一部を変更したりすることがあります。講座の申し込み状況は、随時、市のホームページ内の「うるおいライフ」で見ることができます。

<input type="checkbox"/> 往信	09090292	広見一丁目1番地	(荷も記入しないでください)
	生涯学習文化室行		

<input type="checkbox"/> 返信	□□□□□□	講座番号
	(自分の氏名)	講座名
	(自分の住所)	住所
		氏名
		年齢 歳
		電話番号

市民講師の募集も行っています。

興味のある人は市のホームページで確認するか、生涯学習文化室まで問い合わせてください。

問合先 生涯学習文化室

生涯学習情報

うるおい ライフ

Vol.
82

② 「和」の健康体操NOSSで筋力強化！ New

「和」の穏やかな音楽に合わせて楽しく動き、有酸素運動、筋トレなどをを行います。

期 日 5月14日(火)、21日(火)、
28日(火)【全3回】
時 間 午前10時30分～正午
場 所 福祉センター
講 師 中嶋 美千子
対象者 成人男女
定 員 20人
参加費 無料
持ち物 5本指ソックス



④ 木の食具づくり New

木のバターナイフを作って使って食を考える講座です。

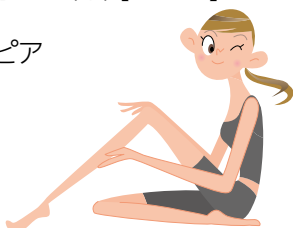
期 日 5月22日(水)または6月12日(水)
【各1回講座】※はがきに希望日を記入し
てください。
時 間 午後1時30分～4時
場 所 広見東公民館
講 師 長谷川 彰
対象者 成人男女
定 員 各回8人ずつ
参加費 1回800円
持ち物 小刀・彫刻刀(あれば)、タオル、飲み物



⑥ アロマ体験講座

アロマの香りを楽しみながら、簡単オイルマッサージを学ぶ体験講座です。

期 日 5月23日(木)、6月6日(木)【全2回】
時 間 10時～11時30分
場 所 広見公民館ゆとりピア
講 師 中原 なおみ
対象者 成人女性
定 員 10人
参加費 1500円
持ち物 バスタオル1枚
ハンドタオル2枚



① 心や体をほぐす健康太極拳 New

りつぜん 立禅・スワイショウ、れんこうじゅうはつぽう はちだんにしき 錬功十八法、八段錦、太極拳を学びます。

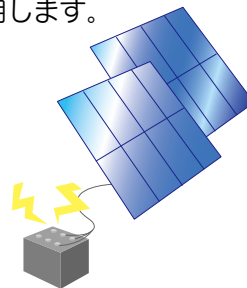
期 日 5月29日(水)、30日(木)【全2回】
時 間 午前10時～11時30分
場 所 桜ヶ丘公民館
講 師 荒木 真奈美
対象者 成人男女
定 員 20人
参加費 無料
持ち物 飲み物



③ 自立型ソーラー発電入門 New

蓄電池とソーラーパネルを使用した自立型ソーラー発電の基本知識を説明します。

期 日 6月1日(土)
時 間 午後2時～4時
場 所 中恵土公民館
講 師 平野 達也
対象者 成人男女
定 員 10人
参加費 100円



⑤ 健康でおしゃれなライフスタイルレッスン

①自分で作る素敵なディフューザー ②インテリアになるポットアレンジ ③ハーブティーとポップ

期 日 5月8日(水)、22日(水)、6月14日(金)
【全3回】
時 間 午前11時～正午
場 所 広見公民館ゆとりピア
講 師 坂井 ともこ
対象者 成人男女
定 員 12人
参加費 1回4500円
持ち物 筆記用具、はさみ、持ち帰り用袋



⑦ 色々な革でステキな小物を New

小銭入れ、キーホルダー、ブローチを初心者でも楽しく作ることができます。

期 日 5月16日(木)、30日(木)、6月13日(木)、
27日(木)【全4回】
時 間 午前10時～正午
場 所 広見公民館ゆとりピア
講 師 minoクラフト
対象者 成人男女
定 員 10人
参加費 2500円
持ち物 手芸用はさみ、エプロン



市民講師企画講座①～⑦

問合先 生涯学習文化室

いじめ防止のPRなどに取り組む事業所を募集

「どうしたの？」って、お店の人が声をかけてくれたよ。

市は、子どものいじめ防止に取り組んでいます。そこで、地域の一員としていじめ防止に取り組む市内の事業所を募集し、「可児市いじめ防止協力事業所」として認定します。

市民・事業者みんなで子どもが安心して過ごすことができる環境をつくり、「子育てするなら可児市に住みたい」といわれるまちにしていきたいと思います。

活動内容 子ども、客、従業員を対象としていじめ防止に関する取り組みを行う

- (例) ○店舗や事務所にポスターを掲示したりチラシを設置したりするなど、PR活動に協力する
- 子どもに対する見守りや声かけなど、子どもが安心して過ごすことができる環境をつくることに協力する
- 事業所のホームページやチラシへ「〇〇は子どものいじめ防止活動を応援します」などいじめ防止に関する事項を掲載する
- 社内報などで、家庭での取り組みを従業員に呼び掛ける

申込方法 人づくり課に備え付けの申込用紙に必要事項を記入の上、同課に直接提出するか、ファクス（☎4248）または電子メール（mailto:hitozukuri@city.kani.lg.jp）で申し込む

※申込用紙は市のホームページからダウンロードすることもできます。

申込開始 4月1日（月）（随時受け付け）

認定後、「可児市いじめ防止協力事業所」として認定証やステッカーを渡します。店舗や事務所の出入口、カウンターやレジ付近にステッカーを貼って活用してください。

また、「可児市いじめ防止協力事業所」に認定されると、市がその取り組みを紹介、PRします。

※詳細は、人づくり課に備え付けの要項や市のホームページで確認してください。

いじめ防止専門委員会（人づくり課内）

子ども専用フリーダイヤル

☎0120（263）115

大人用相談電話

☎8700

月～金曜日（祝日を除く）

午前8時30分～午後5時

申込・問合せ先 人づくり課



広
告



広見小学校の発表「可児川博士になろう」の様子

2/24 みんなで環境まちづくり

広見公民館ゆとりピアで「第13回 市環境フェスタ」が開催されました。「未来へつなごう みんなで環境まちづくり」をテーマに、市民団体や事業者、学校での環境による取り組みなどの発表や、体験が行われました。

ステージでは、市内の小中学校7校が日ごろの環境学習の成果を工夫を凝らして発表しました。体験ブースは、マイはし作りや廃ガラスを使ったオブジェ作りなど、環境を意識した体験ブースがにぎわっていました。

3/2 愛犬のしつけ方を学ぶ

愛犬のしつけ方教室が総合会館分室で行われ、新しく犬を飼い始めた人を中心に、54人が参加しました。

講師の獣医師や保健所職員が、しつけ方のポイントや法律上の飼い主の責任について話したほか、犬を登場させてさまざまな場面でのしつけ方を披露しました。

参加者は、先生の話にうなずき、熱心にメモを取ったり、しっかりとしつけられた犬の動きに驚き、拍手を送ったりしていました。



さまざまな場面でのしつけ方を披露する様子

INFORMATION インフォメーション

「土砂災害特別警戒区域」に指定された土地は、評価額を減額

県は昨年12月、「土砂災害防止法（土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律）」に基づき、市内で土砂災害により大きな被害が生じる恐れのある区域を、「土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）」に指定しました。

レッドゾーンに指定された土地は、25年度から固定資産税および都市計画税の評価額を減額します。

指定された土地の減額率

指定地積の割合	補正（減額）率
25%未満	15%
25%～50%未満	25%
50%以上	50%

※総地積における指定地積の割合により、補正率を乗じて減額します。

対象地目 レッドゾーンに指定された宅地、宅地に準じた評価の土地

問合せ先 土砂災害特別警戒区域については土木課、固定資産税、都市計画税については税務課

市住宅リフォーム助成事業

市は、市内事業者の振興や活性化を図るため、市内事業者に依頼して行う住宅リフォーム工事に対して、経費の一部を助成します。

対象者（要件を全て満たすこと）

○市内在住で、市税や負担金などの滞納をしていない人

○工事を行う住宅を所有し、居住している人

対象住宅 個人住宅、併用住宅（居住部分のみ）、集合住宅（占有部分のみ）および住宅に付随する外構
※過去に当該助成事業の交付を受けた住宅と対象者は除きます。

対象工事（要件を全て満たすこと）

○対象住宅の修繕、模様替え、改築などのもの ○工事費が50万円以上（消費税除く）のもの ○4月1日以降の契約で、着工前のもの ○6カ月以内かつ年度末までに完成するもの ○市内に本社を有する事業所または市内に住所を有する個人事業者に依頼して行うもの ○ほかの制度により補助を受けていないもの

助成額 工事費の10%に相当する額（千円未満切り捨て、10万円を限度とします）

申請方法 申請書と必要書類を産業振興課へ提出する
※必ず着工前に申請してください。

※予算の範囲内の助成です（先着順）。

問合せ先 産業振興課

参道を駆け抜ける

しらひげ やぶさめまつり 土田白鬚神社流鏝馬祭

土田白鬚神社流鏝馬祭は土田地区の伝統ある祭礼で、市の重要無形民俗文化財に指定されています。

祭礼では「神輿渡御」と呼ばれる神事と、「流鏝馬」が行われます。神輿渡御は約400メートル続く参道の先にある御旅所まで、本殿から行列を連ねて神輿が渡ります。この神事が終わると、流鏝馬が始まります。初めにはかま姿の「馬場見せ」が参道を馬で駆け抜け、次に本乗りが華やかな装束姿で登場します。竹の杖を持った「先払い」が馬の到来を大声でふれながら馬の前を走った後、本乗りが馬を走らせ参道を駆け抜けます。途中、本乗りは参道に設けられた2カ所の的を目かけ、馬上から矢を放ちます。騎手は地区の若者から選ばれ、練習を重ねて本番に挑みます。

この祭礼は毎年4月の第1日曜日（今年は7日）に開催され、毎年多くの見物客でにぎわいます。

問合せ先 教育文化財課



流鏝馬の本乗り

わが家の防災メモ Vol.6

やってみよう！災害図上訓練

2月3日に姫治地区で災害図上訓練が行われました。災害図上訓練とは、地図を使って防災対策を検討するもので、DIG(Disaster Imagination Game) ともいいます。

この日の訓練では、約40人の参加者が自治会ごとにグループに分かれ、自分たちの住む地域で水害などが発生した場合を想定して、要援護者をどのように避難誘導するか、浸水の恐れがあるなどの危険箇所はどこか、安全な避難経路や避難場所はどこかといったことを、地図上に記入しながら熱心に話し合っていました。

災害図上訓練のメリットは、参加者同士が「わいわい、がやがや」と話し合うことを通じて、身近なまちのことや災害時の対応を具体的に考えることができ、さらに地域の絆も深められることです。皆さんの地域でも、ぜひ実施してみてください。



災害図上訓練の様子

問合せ先 防災安全課

「キッズクラブ（旧児童クラブ）」

放課後など留守家庭となる世帯の児童を預かる児童クラブは、この4月から名称を「キッズクラブ」へと変更した上で、子育て世帯を応援するための制度改革を行います。

平成23年度から地域子ども見守りモデル事業「キッズクラブ」を実施してきました。今回の制度改革は、その実績と成果を最大限に生かし、地域と協働して子育て支援を実施していく上で安定的で継続性のある制度を確立していくことを目的としています。

主な改正内容は次のとおりです。

- ①対象児童を、従前の「小学1年生から3年生まで」から「1年生から6年生まで」に拡大。ただし、定員超過した場合は低学年を優先。
- ②長期休暇期間のみの入室定員枠を、今年の夏休みから創設。

問合せ ことども課

③地域のボランティアの人たちにクラブ内で活動してもらえる体制を構築。子どもたちが人づきあいについて学んだり、自然に社会のルールを身につけたり、自分の考えをしっかりと伝える力などを育む。



児童クラブで放課後を過ごす児童たち

早寝、早起き、朝ごはん 簡単！朝ごはんレシピ

Vol.11



トマトとレタスのコンソメたまごスープ

【材料（4人分）】

トマト 160g / レタス 120g /
 顆粒コンソメ かりゆ 小さじ2と2/3 / 水 400cc /
 卵 2個 / しょうゆ 小さじ2/3 /
 塩、こしょう 少々

【作り方】

- ① トマトは食べやすい大きさ、レタスはざく切りにする。
- ② 鍋にコンソメ、水、トマトを入れて火にかける。
- ③ ②が沸いたら、レタスを加え、溶いた卵を入れしょうゆ、塩、こしょうで味を調える。

考案者：今渡南小学校4年生 今井さくらさん

問合せ 健康増進課



コメント・ポイント

浮いてくるトマトの皮を取り除くとより美味しいですよ！

【栄養成分（1人当たり）】

エネルギー 54kcal / たんぱく質 3.8g /
 カルシウム 22mg



市長室に ようこそ



「地域コミュニティと子育て」

今、ただでさえ少子化が進む中、子どもたちを取り巻く環境は、決して望ましいものではないと思いませんか？特に、「絆」という言葉がもてはやされる一方で、地域のつながり、周囲への感謝の気持ち、コミュニティに参加する大切な思いがどんどん希薄になっていきます。このような社会をつくってきたのは、私た



流しそうめん(帷子キッズクラブ)

ち大人であり、その影響が子どもにも及んでいるのではないのでしょうか。我が国が経済成長と引き換えに失ってきた、地域コミュニティの大切さを、もう一度、市民みんなで意識できる仕組みができないものではないでしょうか。



ぬり絵(今南小キッズクラブ)

一昨年の夏休みに、帷子地区で、地域と子育てを大切に思う人たちの



お昼ごはん(桜ヶ丘キッズクラブ)

ボランテアで「キッズクラブ」がスタートしました。そして、昨年、下恵土地区、桜ヶ丘地区でも始まりました。初めてのことで、いろいろな課題があり、ボランテアの皆さんには本当にご苦労をおかけしましたが、全体的には素晴らしい成果を出していただきました。子どもたちも、保護者の方も、ボランテアの方も、コミュニティのつながりを、より一層強く感じ取っていただけ何よりでした。そして、今年からは、可見市中で、地域の私たちの力をお借りして、子育てを応

「市長の部屋から」は、「市長室にようこそ」に変わりました。市長室の敷居を低くして、この1年間、市民の皆様を市長室にお迎えしたつもりで、お話をさせていただきたいと思えます。

援する「キッズクラブ」が本格的にスタートすることになりました。

この事業は、ボランテアに応募いただけることが実施の条件になります。そしてもう一つ本当に大切なことがあります。それは、保護者の皆さんの感謝の心です。この制度を利用される保護者の皆さんには、子どもをしつける責任をしっかりと自覚していただいた上で、子育てを応援してくれる地域の皆さんへの感謝の気持ちを忘れないでほしいのです。その気持ちは、子どもたちにも伝わり、素晴らしい教育となります。

可見市の子どもたちには、自分たちを応援してくれる地域の清潔で安全な環境を、守り続けてもらいたいと思えます。そして事ある時には助け合えるコミュニティの大切さを、肌で感じながら育てたいと思います。そしていつの日か、地域を、子育てを支える側に回って欲しいと心から願っています。

可見市長 富田成輝

広報かには、ボランティアグループ「音訳・ヴォイスの会」の皆さんにより音訳されています。音訳版を希望する人は、図書館本館へご連絡ください。



記念冊子「オーイしんちゃん」好評発売中!



私の知人で、あえて鈍行に乗り、ゆっくりとした電車の旅を楽しむ人がいます。「乗り鉄」ならぬ「乗り鈍」でしょうか。

きっちりと計画を立てることなく、時間を気にしない、気ままな旅。心が癒やされそうで、いいですね。

人によって、車内での過ごし方はさまざま。読書をしたり、窓の外の景色を楽しんだり、車掌さんのアナウンスの特徴を見付けたり。

電車は、時間がほぼ正確、車と比べて事故や渋滞が少ない、この地域では雪の日もほぼ動くなど、良い所がたくさんあります。

でも、多くの人にとっては、必要なものだけけれど、いつも利用するわけではない。でも、なくなると困る。そんな存在でしょうか。

普段は車で出掛ける所に電車で行ってみると、違った世界が待っているかも…。(笑)

図書館だより

市立図書館 本館(広見) ☎②5120
 帷子分館 ☎⑥8530
 桜ヶ丘分館 ☎④3473

展示のご案内

本館 4/18(木)
 「子どもと本のかけ橋に! かにっ子タイムボランティア」展

本館 4/20(土)~5/19(日)
 「こどもの読書週間『こどものとも』復刻版」展

福音館書店発行「こどものとも」は、世界で初めての月刊物語絵本として1956年に創刊されました。復刻版全150点の絵本を展示します。

新しくいった本

一般書
 『abさんご』 黒田夏子/著(文藝春秋)
 『金子みすゞ 女性たちのシンパシー』 詩と詩論研究会/編(勉誠出版)
 『台所の二ホト』 伊藤まさこ/著(新潮社)

児童書
 『10分で読めるとんち・わらい話』 塩谷京子/監修(学研教育出版)
 『13歳からの拉致問題』 蓮池透/著(かものがわ出版)

休館日 本館・分館共通 毎週月曜日、26日(金)

こどもの読書週間スペシャル

○かにっ子タイム
 日時 4月20日(土) 午後2時~
 場所 本館3階 会議室

○ちびっこかにっ子タイム
 日時 4月25日(木) 午前11時~
 場所 本館2階 児童コーナー

4月23日から5月12日は、「こどもの読書週間」です。
 図書館では、絵本の読み聞かせや紙芝居を行なっています。ぜひ参加してください!



「赤ちゃんタイム」を始めます!

乳幼児を連れている人が図書館でゆったりと過ごしてもらえるように、図書館とボランティアがサポートします。館内放送でほかの利用者へも理解をお願いし、児童コーナーでは読み聞かせなどを行います。赤ちゃんと一緒に、図書館へお越しください。申し込みは不要です。

日時 第2・4木曜日 午前10時30分~正午
 対象 乳幼児と保護者
 場所 本館

本館に新しい駐車場ができました

場所 本館西隣(第3駐車場の看板あり)
 駐車可能台数 11台

MEDIA INFORMATION

CATV いきいきマイタウン 番組案内

ケーブルテレビ可見(デジアナ7ch、デジタル12ch)で毎日放映中!!

4/6(土)~12(金)

●一流の人に会いに行こう!

多くの市民の皆さんにアワーをより身近に感じ、芸術文化を楽しんでもらえるよう「一流に出会う日」事業を紹介します。

★市長の部屋から

4/20(土)~26(金)

●「空き家・空き地バンク」とは

人口減少社会に伴い、住宅団地の空き家や空き地が増加しています。所有者と利活用を望む人の橋渡しをする市の取り組みを紹介します。

★タウン情報

4/13(土)~19(金)

●うるおいライブ

広報かに今月号で募集している講座の中から、いくつか紹介。新しい講座がたくさんあります。チャレンジの春! 出会いの春! この番組を見て春から何か始めませんか?

★レッツゴー! 市役所

4/27(土)~5/3(祝)

●平成25年度予算

市は、今年度「若い世代が住みたいと感じる魅力のあるまちの創造」を目標とし、「4本柱」を重点に、市民生活を向上と市の魅力づくりに取り組みます。

★レッツゴー! 市役所

放送時刻 月~金曜日 7:30・12:00・17:00・19:00・21:00・22:00
 土・日曜日 7:30・12:00・14:00・19:00・20:30・22:00

※番組の内容や時間は変更することがあります。
 ※デジタル12chのデータ放送で、市政情報も発信しています。

FM rara 55
 76.8MHz
 KANI, MINOKAMO, MITAKE

放送中

災害など緊急時には、特別放送をします。

月~金の午前8時からは、市政情報を、毎週土曜日の午前10時からは、地域の市民活動などを放送しています。毎週木曜日の午前11時20分~11時40分は、市長や市職員が出演するコーナーもあります。お聴き逃しなく!



戦国の世の歴史ロマンを秘めた
蘭丸ふるりの里の森（兼山）。
毎年春には千本桜が咲き乱れ、
一面がピンク色に染まります。
4月14日には、桜まつりが開催されます。

平成24年市観光協会写真コンテスト入賞作品
高垣孝史さん撮影

心の風景

218



夕暮れの桜



今月の一枚

可児郷土歴史館で、2月5日から3月20日まで、特別展「弥七田織部展」が開催されました。久々利大萱の弥七田窯で焼かれた特徴ある織部を一堂に集めました。

可児市は、美濃桃山陶の聖地とされていることから、今年度、これに関連したさまざまな事業を行います。財団法人豊蔵資料館から寄付を受けた資料館の管理運営や、国宝卯花塙を焼いたとされる牟田洞窯跡の調査などを行い、市の魅力を高めていきます。



弥七田織部の説明をする加藤弥右衛門さん

広報かに No.738
2013年4月1日号

編集・発行／可児市役所 〒509-0292 岐阜県可児市広見一丁目1番地
☎ (0574) 621111 ㊚ (0574) 610345 URL <http://www.city.kani.lg.jp/>

市の人口 101,163人 (男/50,176人 女/50,987人) 世帯数 38,888世帯(3月1日現在)
(前月より146人減・34世帯減、昨年同月より361人減、179世帯減)

「広報かに」4月1日号、1部当たりの印刷費は約11.26円(税込み)です。



広報かにには100%再生紙を使用しています。
植物油インキで印刷されています。